日本画像学会 2013 年度第 1 回技術研究会(通算第 117 回)開催のお知らせ

『 作る・造る・創るインクジェット 』

－ 夢物語でないデジタルファブリケーション －

インクジェットの持つシンプルなプロセスの生産技術への応用や，付加価値をつける手法とするいわゆる Digital Fabrication [DF]と呼ばれるインクジェットの応用が 10 年以上前から始まっています．しかし当初考えられた多くのアイデアや取り組みについては一部を除き，実際の製品が市場導入された例を目にする機会は多くありません．ロールツーロール方式による高生産性製造技術の確立と製品への展開は，まだ研究開発の途上であり，その革新的製造技術の成果を目にするには，いくつかの大きな課題を乗り越えなければなりません．しかし，この困難さの裏で DF 技術の有用性は確実に浸透し，実用化に向けた手ごたえや成功への見通しが得られている応用が確実に出てきています．

そこで今年のインクジェット技術部会，DF 部会合同の技術研究会では，実際にインクジェットによる応用を実践されている方々にご講演をいただき，インクジェットの可能性だけではなく，実際の貢献を実感するとともに，直面する課題への取り組み等をお聞きし，今後のインクジェットの DF 応用を改めて考えてみたいと思います．

□ 開催日時 2013 年 9 月 20 日(金) 10:00-16:50

□ 場所 発明会館ホール
東京都港区虎ノ門 2-9-14 TEL: 03-3502-5499
地下鉄銀座線虎ノ門駅(徒歩 5 分)/日比谷線神谷町(徒歩 6 分)/千代田線霞が関(徒歩 13 分)
地図 → http://hatsumeikaikan.com/access1.html

□ 座席定員 260 名

□ 参加費 会員 6,000 円，非会員 9,000 円，学生 2,000 円(カラー予稿集含む)
会場にて当日お支払いください．会員の方は会員証・維持会員証を，学生の方は学生会員証または学生証をご提示ください．

□ 参加申込 下記の日本画像学会技術研究会参加申し込みサイトから事前に申し込みをお願いします．
http://www.isj-imaging.org/event/tech_seminar/2013_smr_117.html

****** プログラム ******

受付開始：09:25 より

10:00-10:10	開会の挨拶	インクジェット技術部会
Overview		
10:10-10:55	●インクジェット技術を応用したものづくりの現状と課題	山口 修一（マイクロジェット）
Bio & Medical (Part1)		
10:55-11:40	●全工程インクジェット印刷で創る紙デバイス―健康診断チップと細胞培養システム	江前 敏晴（筑波大学）
11:40-12:40	－ 昼休み（60 分）－	
Printed Electronics		
12:40-13:25	●高機能デバイスの低コスト製造を実現するプリンタブル・プロセス量産技術	中村 秀男（日立製作所インフラシステム社）
13:25-14:10	●印刷工法を用いたフレキシブルエレクトロニクス	尾崎 和行（日本メクトロン）
Bio & Medical (Part2)		
14:10-14:55	●インクジェットプリンターによる人工骨の作製	鄭 雄一（東京大学）
14:55-15:10	－ 休憩（15 分）－	
Printer & Material		
15:10-15:55	●スーパーインクジェット －超微量液滴がもたらす世界－	村田 和広（SIJ テクノロジ）
15:55-16:40	●インクジェット用インクの用途展開	佐藤 弘幸（JNC）
16:40-16:50	閉会の挨拶	デジタルファブリケーション部会

プログラム等の変更に備え，日本画像学会ホームページで最新の情報をご確認ください．
http://www.isj-imaging.org/isj.html

企画，運営: 日本画像学会技術委員会 インクジェット技術部会，デジタルファブリケーション部会
一般社団法人日本画像学会 The Imaging Society of Japan, ISJ
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内 Tel: 03-3373-9576, Fax: 03-3372-4414